



- ### 公共交通の課題
- 課題1 運転のできない高齢者、障がい者、学生等の日常生活の移動手段の確保
 - 課題2 周辺地域と市街地中心部を結ぶ移動手段の確保
 - 課題3 地域特性や移動ニーズに応じた公共交通の見直し
 - 課題4 市街地中心部における移動手段の確保
 - 課題5 近隣市町との連携による地域の活性化
 - 課題6 交通結節点における機能の向上
 - 課題7 公共交通を利用しやすい環境整備
 - 課題8 地域がつくり、支える公共交通の構築
 - 課題9 公共交通の維持に向けた意識の醸成

新発田市地域公共交通網形成計画

目指すべき将来像

地域と地域をつなぎ、人が行き交う、暮らしやすいまち

計画区域：計画の区域は新発田市全域

計画期間：平成29年度から平成35年度まで（7年間）

施策体系 目標

目標1
地域特性に応じた使いやすく、わかりやすい公共交通

評価指標	現状値	目標値(H35)
①路線バスの年間利用者数	120,371人	〇〇〇,〇〇〇人
②コミュニティバスの年間利用者数	108,401人	〇〇〇,〇〇〇人
③路線バスの見直し地区数	2地区	〇地区
④「バスどこ」HPへの年間アクセス数	14,162件	〇〇,〇〇〇件

目標2
地域とともに作り、支える、持続可能な公共交通

評価指標	現状値	目標値(H35)
①地域における検討支援体制の構築数	4団体	〇団体
②路線バス利用者1人当たり運行経費	891円/人	〇〇〇円/人
③コミュニティバス利用者1人当たり運行経費	747円/人	〇〇〇円/人
④公共交通の利活用を推進する年間取組数	〇件	〇件

目標3
まちの変化に応じた公共交通

評価指標	現状値	目標値(H35)
①あやめバス（市街地循環の年間利用者数）	80,582人	〇〇,〇〇〇人
②通学における高校生の公共交通利用率	51%	〇〇.〇%

施策

- 施策1** 地域や利用者の移動ニーズに対応する移動手段の確保
- 施策2** 多様な公共交通の連携による公共交通ネットワークの整備
- 施策3** 公共交通を利用しやすい環境の整備
- 施策4** 地域全体で公共交通を支える基盤づくり
- 施策5** アクセス向上による都市拠点の形成強化
- 施策6** 広域的な交通ネットワークの形成強化

都市構造

- 新発田市街地における都市拠点の形成
- 都市拠点と周辺地域を結ぶ交通軸の形成
- 周辺自治体との交流軸の形成
- コンパクトなまちづくり

取組の視点

- 利便性の向上
- 持続可能性の向上
- 効率性の向上

公共交通の役割

- 地域住民の移動手段の確保
- ネットワーク強化によるまちの賑わいの創出
- 人の交流の活発化

役割の明確化

- 地域住民
- 交通事業者
- 行政
- 関係機関

(3) 見直しの進め方

